行政改革　第三セクターのあり方について検討が始まる

安曇野市出資法人あり方検討専門委員会が６月27日、堀金総合支所会議室で行われました。

この日は、専門委員に平林市長から任命書が手渡されました。委員には、高崎経済大学大学院准教授の河藤佳彦さん、佐々木会計事務所所長の佐々木一夫さん、株式会社ちくま精機代表取締役の花村薫さん、財団法人長野経済研究所理事・調査部長の平尾勇さんが任命されました。また、この中から委員長には元大阪府職員で第三セクターの見直しなどに携わった経験がある河藤さんが就任しました。平林市長は「経営状況など客観的、シビアに評価をしてほしい。そして、課題を検証し、どのように解決していくべきか、また今後の市のかかわり方など議論してほしい」とあいさつしました。

各分野の専門家による検討がスタート

調査検討の対象法人は、市の出資等の比率が25％以上の８法人（下表参照）です。今後は、各法人が作成した運営に関する調書などをもとにヒアリングを行い、経営評価および法人形態、市の人的・財政的関与の必要性および妥当性などの現状把握と検証を行います。そして、見直しが必要な出資法人については、抜本的な対策や改善策などをまとめ、本年度中に平林市長に報告書を提出する予定です。

対象法人	主な事業
株式会社ファインビュー室山	ファインビュー室山の管理運営
株式会社ほりでーゆ～	ほりでーゆ～四季の郷および周辺施設の管理運営
株式会社三郷農業振興公社	畜糞を原料とした堆肥製造・販売
株式会社三郷ベジタブル	トマト栽培施設の管理運営・栽培と販売
穂高温泉供給株式会社	温泉関連施設の管理運営
社団法人豊科開発公社	安曇野の里（ビレッジ安曇野など）の管理運営
財団法人豊科文化財団	豊科近代美術館・豊科郷土博物館・田淵行男記念館および飯沼飛行士記念館の管理運営
財団法人三郷開発公社	温泉活用事業など

官学連携　安曇野の景観とその価値について考える

昨年実施されたアンケート結果の分析報告も行われた

市が連携協定を結ぶ信大人文学部の調査研究報告会が7月27日、豊科ふれあいホールで行われました。

土地利用と景観形成、観光と景観など、今後の安曇野市の景観を考える上での現状や課題を整理した内容となりました。約80人の参加者は、村山研一教授、渡辺勉准教授からのスライドなどを使った話に、熱心に耳を傾けていました。

本調査の詳細は、信大人文学部のホームページでご覧いただくことができます。また、この研究は今年も引き続き実施されます。

早い！簡単！便利！

自動交付機を設置します

9月から利用できます！

住民票・印鑑証明書を交付する自動交付機を、新たに豊科、三郷の総合支所に設置し、9月から稼働します。

自動交付機とは？

印鑑登録証明書と住民票（個人・世帯全員）の写しを自動で発行する交付機です。年末年始（※１）を除く毎日、午前７時から午後７時まで利用できます。現在は穂高総合支所に設置されています。

利用するには？

印鑑登録と暗証番号（数字４桁）登録をした「安曇野市民カード」または「ホタカタウンカード」が必要になります。

登録方法は？

下記（①と②）を持参し、必ずご本人が各総合支所の市民福祉課窓口で登録手続きをしてください（※2）。

① 旧町村の印鑑登録証（ラミネートタイプ）、ホタカタウンカード、安曇野市民カード

② 官公署発行で顔写真入りの本人確認書類（運転免許証、パスポートなど）

（※１）12月29日～1月3日

（※２）本人確認書類がない場合は、暗証番号登録申請書の保証人欄に市内で印鑑登録をしている人の署名登録印の押印が必要になります。

旧町村の印鑑登録証やホタカタウンカードは、安曇野市民カードに引き換えをしています。

しゅん工　明北小、豊科南小のプールが完成

豊科南小の低学年用プール

明北小学校と豊科南小学校のプールがこのほど完成し、６月11日に引渡し式が行われました。

明北小学校にできたのは、25ｍの高学年用プールに低学年用が併設されている低高学年兼用プールで、総事業費は約１億857万円。豊科南小学校には、25ｍの高学年用と15ｍの低学年用の２つのプールが完成し、総事業費は約１億3,080万円となりました。

いずれのプールも、吸い込み事故防止のための吸水方式や、柔らかく滑りにくい素材をプールサイドに採用するなど、安全面への配慮がされています。